

# 令和4年度 事業計画

特定非営利活動法人 長野サマライズ・センター

令和3年10月1日から令和4年9月30日まで

## 1. 事業の方向性

- コロナ下で、社会活動は少なからず制約された状態が継続すると予想される。  
長野県内の公立高校に在籍する難聴学生の支援への参画を続け、支援者の全国ネットワークをより充実させることに取り組む。  
高校だけでなく、長野県内だけでなく、全国の小中学校を含め、一人でも多くの難聴の生徒の支援の実現に、引き続き、力を注いでいく。
- 一方で、コロナ禍の影響を受け、寄付者の大幅な減少・寄附金収入の減少が予想されている。  
少しずつでも、現会員や寄付者のお力をお借りしながら、誠実な支援活動を続け、理解と認知を広める活動を継続する。
- 社会の課題は、より複雑化・多様化・深刻化しており、1組織だけでは解決できない課題も多く、今後も、市民団体、企業、行政機関・教育機関・医療機関など、多様な組織と手を取り合っている、開かれた体制づくりを行う。
- 地域行政からの安定的な委託事業を、より質の高い、ニーズに応えられるものにしていけるよう、人材の発掘や育成を継続し、多少なりとも就労機会の提供の一翼を担っていける体制の強化を図る。
- SDGsのゴール4「質の高い教育をみんなに」を、改めて目標に掲げた事業を行う。

## 2. 事業実施に関する事項

### ○ 特定非営利に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
パソコン要約筆記通訳者の派遣を行う事業	要約筆記委託事業	R3.10.1 ~R4.9.30	事務所、 県施設、各市町村施設	20名	全国 3000名	300
パソコン要約筆記通訳の人材発掘と育成事業	養成講座実施・勉強会の運営	R3.10.1 ~R4.9.30	事務所、遠隔、大学 長野、塩尻、明石	6名	長野県を中心とする全国 100名	200
IT技術の福祉分野への活用を推進する事業	情報収集と提供	R3.10.1 ~R4.9.30	事務所等、WEB	4名	全国活動者・支援団体、企業等 1000名	200
要約筆記・パソコン要約筆記についての相談と助言に関する事業	全国パソコン通訳者のネットワーク化	R3.10.1 ~R4.9.30	事務所等	4名	全国活動者・支援団体、企業等 200名	700
障害者・青少年の生きがい作りと人材育成事業	教育現場での授業サポート	R3.10.1 ~R4.9.30	筑波技術大学・信州大学 全国小中学校	20名	聴覚障害児童・ 学生 350名	1600
	テープ起こしデータ入力	R3.10.1 ~R4.9.30	事務所等	12名	地域住民 市町村等 150名	3000
	助成事業	R3.10.1 ~R4.9.30	全国各地	20名	聴覚障害者・児 全国活動者等 200名	1000
その他、目的達成のために必要な事業	PR活動	R3.10.1 ~R4.9.30	事務所等	6名	依頼側、参加者 聴覚障害者、市民 70000名	300
	助成事業等	R3.10.1 ~R4.9.30	事務所等	4名	依頼者、参加者、 聴覚障害者等 1000名	700
一般管理費	事務作業等諸経費	R3.10.1 ~R4.9.30	事務所等	4名	30名	600